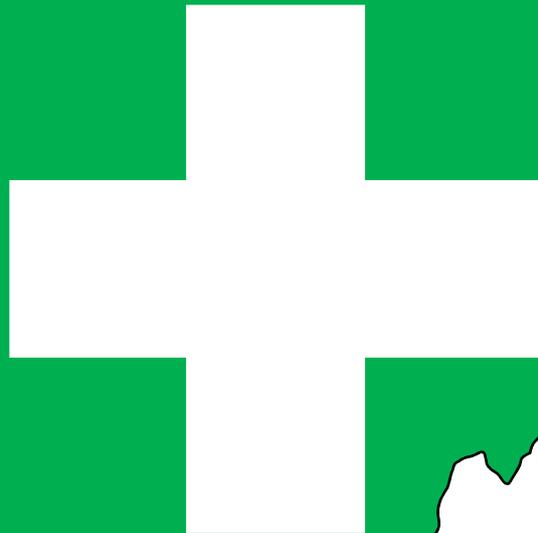




# 労働者の健康の状況 (令和6年版)



長野労働局労働基準部

健康安全課

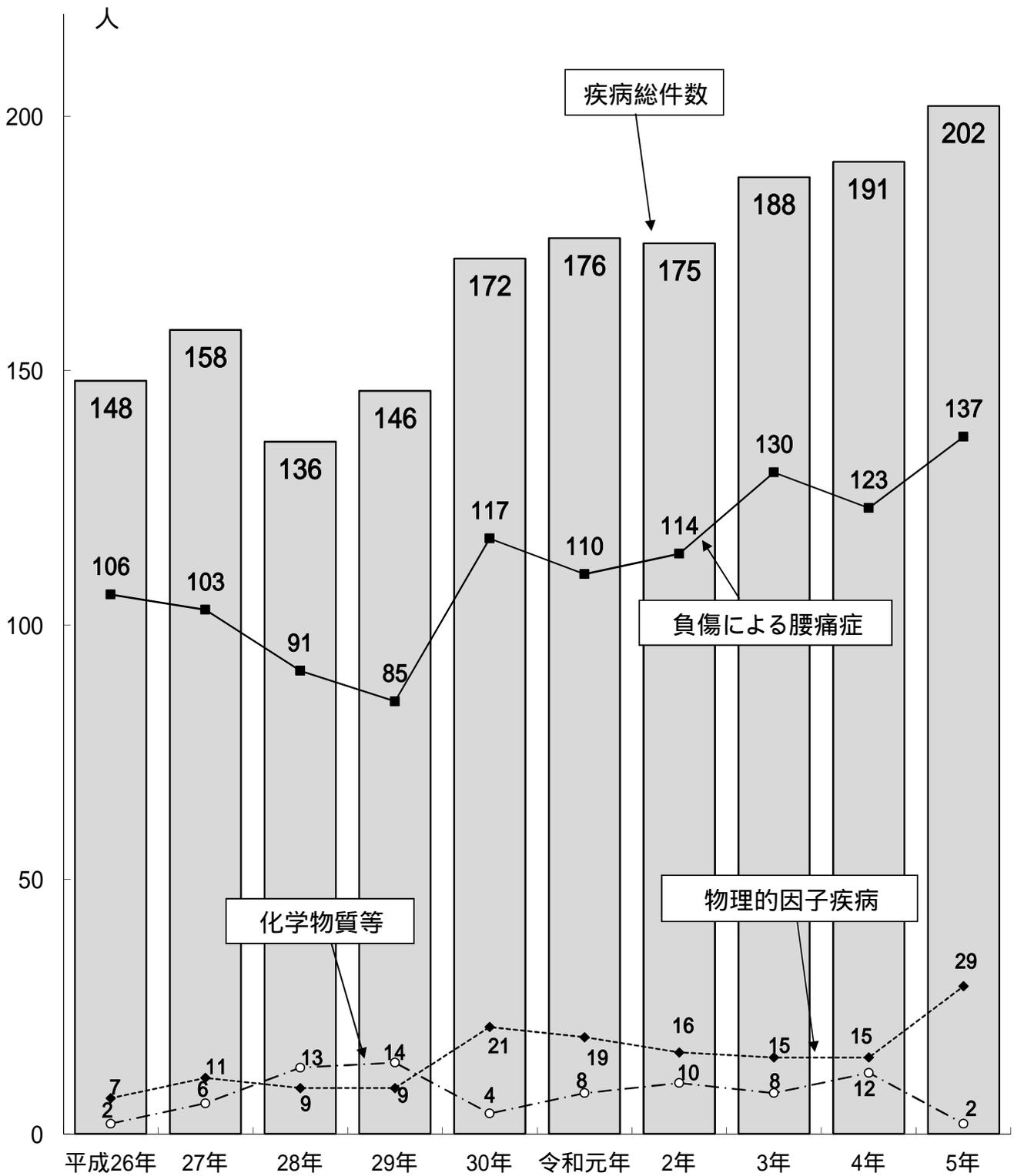
# 目 次

第 1 図	業務上疾病の推移（過去 10 年間）	1
第 1 表	産業別・疾病分類別業務上疾病発生状況の推移	2
第 2 表	業務上疾病発生状況（令和 5 年）	3
第 2 図	健康診断結果（有所見率）の推移	4
第 3 表	一般定期健康診断実施結果（令和 4 年・令和 5 年）	5
第 4 表 - 1	令和 5 年 一般定期健康診断項目別有所見率（その 1）	6
第 4 表 - 2	令和 5 年 一般定期健康診断項目別有所見率（その 2）	7
第 5 表	特殊健康診断実施状況の推移（過去 30 年間）	8
第 6 表 - 1	特殊健康診断実施結果（令和 5 年）（その 1）	9
第 6 表 - 2	特殊健康診断実施結果（令和 5 年）（その 2）	10
第 7 表	健康管理手帳（労働安全衛生法関係）新規交付状況	10
第 8 表	じん肺健康診断実施状況及びじん肺管理区分 決定状況の推移（過去 30 年間）	11
第 9 表	令和 5 年 心理的な負担の程度を把握するための検査 （いわゆるストレスチェック）実施状況	12
第 10 表・第 3 図	長野県におけるストレスチェック 集団分析実施事業場割合の推移	12
第 11 表	令和 5 年 工業中毒等特殊疾病事例	13
第 12 表・第 4 図	長野県の熱中症による労働災害発生状況	14
第 13 表	長野県の熱中症による災害事例	15

第 2 図及び第 3 表から第 6 表までは、事業者から所轄の労働基準監督署に提出された健康診断結果報告書を集計したものである（厚生労働省確定値の内数）。

第1図

業務上疾病の推移(過去10年間)



(注) 1. 各年の業務上疾病の総数は、「休業4日以上死傷災害又は死亡災害(各翌年4月集計)」及び「じん肺症及びじん肺合併症」の合計である。  
 なお、新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除く。  
 2. 資料出所や定義等の注釈は第2表を参照。

第1表

産業別・疾病分類別業務上疾病発生状況の推移

年		平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5
総数		148	158	136	146	172	176	175	188	191	202
産業別	製造業	31	47	34	42	45	38	61	48	47	54
	鉱業	1	1	2			1				1
	建設業	16	13	16	13	9	8	8	18	20	21
	運輸交通業	9	11	7	11	18	7	17	22	16	22
	その他の産業	91	86	77	80	100	122	89	100	108	104
負傷に起因する疾病 ( )内は腰痛で内数		(106) 126	(103) 119	(91) 104	(85) 111	(117) 135	(110) 123	(114) 128	(130) 161	(123) 153	(137) 157
物理的因子による疾病 ( )内は熱中症で内数		(4) 7	(5) 11	(7) 9	(2) 9	(19) 21	(12) 19	(10) 16	(9) 15	(11) 15	(16) 29
身体に過度の負担のかかる疾病	重激業務による 筋肉等の疾患 (腰痛を除く)					1				1	
	振動障害								1		
	頸肩腕症候群	5	1	1	3	4	5	4	1	3	3
	その他		3			1	3	1		3	4
	計	5	4	1	3	6	8	5	2	7	7
	酸素欠乏症										
化学物質等による疾病	化学物質	特定化学物質		2	1	3			1		5
		有機溶剤	1		2	2	1		1		
		上記以外		1	6	6	3	8	7	5	7
	硫化水素中毒					1				1	
	一酸化炭素中毒	1	3	4	2					2	
	その他							1			
	計	2	6	13	14	4	8	10	8	12	2
じん肺症及びじん肺合併症		3	4	5	4	4	2	1	1	2	2
病原体による疾病		2	13	1	2	1	9	12	1	1	2
その他		3	1	3	3	1	7	3		1	3

(注) 1. 各年の業務上疾病の総数は、「休業4日以上死傷災害又は死亡災害(各翌年4月集計)」及び「じん肺症及びじん肺合併症」の合計である。  
 なお、新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除く。  
 2. 丸数字は死亡者数で内数である。

第2表

業務上疾病発生状況 (令和5年)

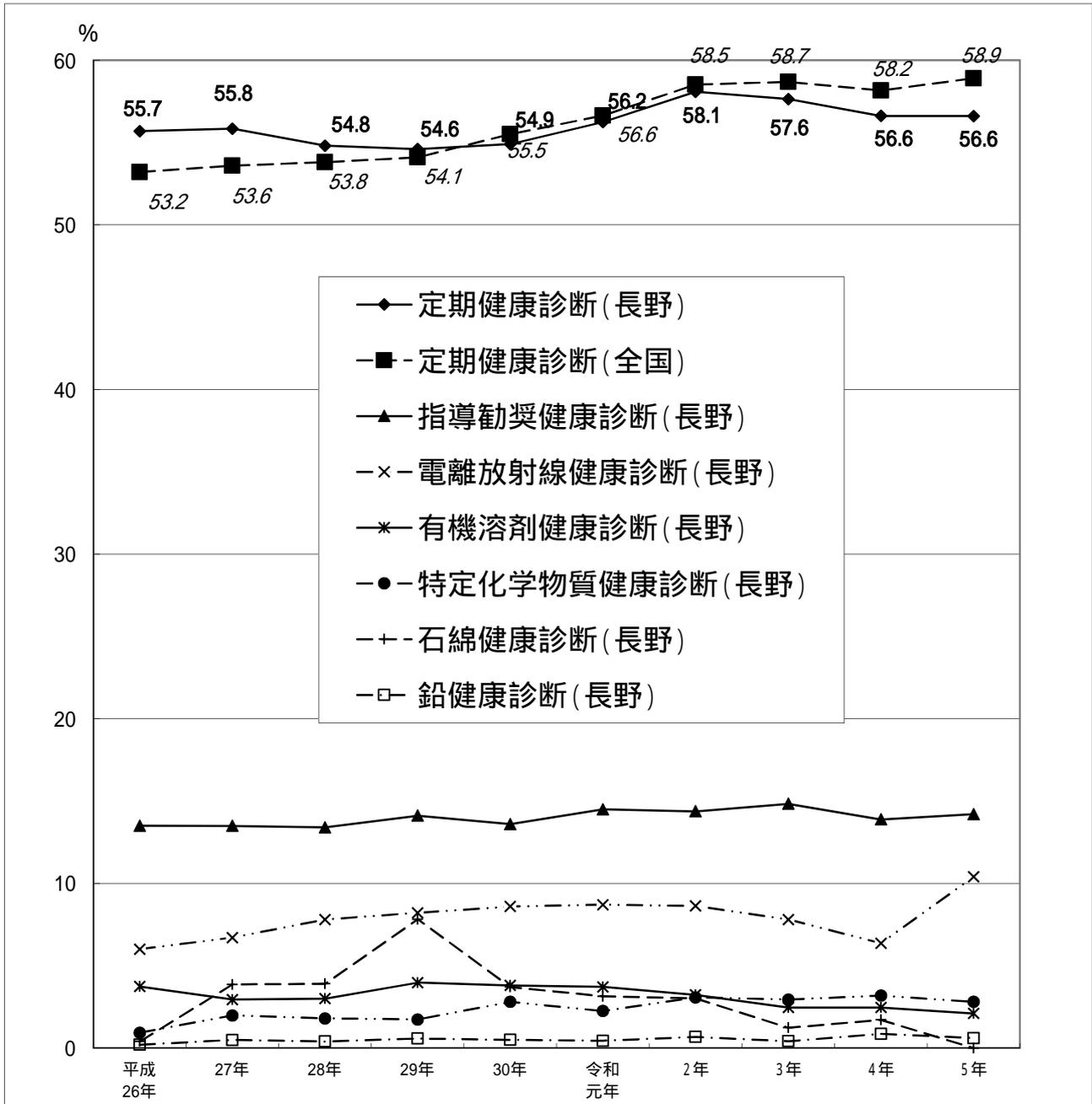
業種	疾病分類	負傷に起因する疾病	物理的因子による疾病							作業態様に起因する疾病				じん肺症及びじん肺合併症	病原体による疾病	がん			合計	構成比	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年		
			有害光線による疾病	電離放射線による疾病	異常気圧下における疾病	異常温度条件による疾病	左記のうち熱中症 (内数)	騒音による耳の疾病	その他	重激業務による筋肉等の 疾患(腰痛を除く)	振動障害	頸肩腕症候群	その他			酸素欠乏症	じん肺症及びじん肺合併症	がん							がん	がん
製造業	食料品製造業	9 (7)			2	1		1					1					13	6.4%	10	12	29	14			
	繊維・繊維製品製造業																	1		1						
	木材・木製品家具・装備品製造業	1 (1)																1	0.5%	2	1	1				
	パルプ・紙加工品印刷・製本業																			1	1	1	1			
	化学工業	2 (2)									1	1						1	5	2.5%	4	2	1	1		
	窯業土石製品製造業	2 (2)																	2	1.0%		3	1	1		
	鉄鋼・非鉄金属製造業	1 (1)			5						1								7	3.5%	2	2	2	3		
	金属製品製造業	6 (6)																	6	3.0%	12	7	7	5		
	一般・電気・輸送用機械工業	15 (12)	1											1					18	8.9%	15	18	16	12		
	電気・ガス・水道業	1																	1	0.5%		1				
その他の製造業				1	1													1	0.5%		1	3	1			
小計	37 (31)	1		8	2		1		2	2		2			1		54	26.7%	47	48	61	38				
鉱業	1 (1)																	1	0.5%				1			
建設業	12 (10)			6	5								2				1	21	10.4%	20	18	8	8			
運輸交通業	20 (17)			2	1													22	10.9%	16	22	17	7			
うち道路貨物運送業	16 (15)			1	1													17	8.4%	13	18	13	6			
貨物取扱業	1 (1)								1									2	1.0%				1			
農林水産業	3 (2)			2	2													5	2.5%	3	3	2	5			
商業・金融・広告業	30 (27)			6	5													36	17.8%	38	36	37	34			
保健衛生業	37 (34)												2					39	19.3%	43	38	33	47			
接客娯楽業	6 (6)			2						2							1	11	5.4%	12	12	10	22			
清掃・と畜業	1 (1)			1	1													2	1.0%	6	7	2	7			
その他の事業	9 (7)																	9	4.5%	6	4	5	6			
合計	157 (137)	1		27	16		1		3	4		2	2	2		3	202	100.0%	191	188	175	176				
令和4年	153 (123)			12	11	3		1	3	3		12	2	1		1	191									
令和3年	161 (130)			14	9	1			1	1		8	1	1			188									
令和2年	128 (114)			16	10				4	1		10	1	12		3	175									
令和元年	123 (110)			18	12		1		5	3		8	2	9		7	176									

資料：労働者死傷病報告(休業4日以上の死傷、厚生労働省集計確定値の内数(各翌年4月集計))。ただし、「じん肺症及びじん肺合併症」を除く。

- (注) 1 疾病分類は労働基準法施行規則第35条によるものを整理したものである。
- 2 丸数字は死亡者数で内数である。
- 3 「負傷に起因する疾病」欄内のカッコ書き数字は腰痛の件数で内数である。
- 4 「がん」の「化学物質」は労働基準法施行規則別表第1の2第7号に掲げる名称の化学物質である。
- 5 「じん肺及びじん肺合併症」は長野労働局長が、じん肺管理区分が管理4、又は、管理2若しくは管理3で合併症あり、と決定した者の数である(決定した年に計上)。
- 6 令和2年から令和5年の被災者数について、新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除いている。

第2図

健康診断結果(有所見率)の推移



健康診断種別	年	平成26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
定期健康診断(長野)		55.7	55.8	54.8	54.6	54.9	56.2	58.1	57.6	56.6	56.6
定期健康診断(全国)		53.2	53.6	53.8	54.1	55.5	56.6	58.5	58.7	58.2	58.9
有機溶剤健康診断(長野)		3.7	2.9	3.0	4.0	3.8	3.7	3.2	2.5	2.5	2.1
鉛健康診断(長野)		0.2	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	0.7	0.4	0.9	0.6
電離放射線健康診断(長野)		6.0	6.7	7.8	8.2	8.6	8.7	8.6	7.8	6.4	10.4
特定化学物質健康診断(長野)		0.9	2.0	1.8	1.7	2.8	2.3	3.1	2.9	3.2	2.8
石綿健康診断(長野)		0.4	3.9	3.9	7.8	3.7	3.1	3.0	1.2	1.7	0.0
指導勧奨健康診断(長野)		13.5	13.5	13.4	14.1	13.6	14.5	14.4	14.8	13.9	14.2

注：除染等電離放射線健康診断、じん肺健康診断については省略。

第3表

## 一般定期健康診断実施結果(令和4年・令和5年)

業種	区分	実施事業場数		受診者数 (人) (A)		有所見者数 (人) (B)		有所見率 (%) (B / A × 100)	
		4年	5年	4年	5年	4年	5年	4年	5年
01 製造業									
	食品製造	164	133	13,996	12,729	7,585	7,187	54.2	56.5
	繊維工業	2	1	111	110	50	53	45.0	48.2
	衣服繊維	4	4	270	325	193	237	71.5	72.9
	木材木製	6	4	433	288	264	214	61.0	74.3
	家具装備	4	3	227	177	161	109	70.9	61.6
	パルプ等	17	9	1,137	741	653	447	57.4	60.3
	印刷製本	23	19	1,390	1,251	831	730	59.8	58.4
	化学工業	87	64	4,450	4,506	2,331	2,491	52.4	55.3
	窯業土石	15	11	1,408	1,135	938	776	66.6	68.4
	鉄鋼業	2	1	337	227	164	133	48.7	58.6
	非鉄金属	19	14	1,187	1,366	631	743	53.2	54.4
	金属製品	135	105	7,756	6,925	4,335	3,822	55.9	55.2
	一般機器	202	181	28,546	28,017	16,550	16,034	58.0	57.2
	電気機器	328	246	38,161	37,190	21,357	20,842	56.0	56.0
	輸送機械	102	73	9,428	9,079	5,370	5,163	57.0	56.9
	電気ガス	18	13	1,379	1,371	1,029	1,034	74.6	75.4
	他の製造	39	36	1,560	1,782	993	1,149	63.7	64.5
	小計	1,167	917	111,776	107,219	63,435	61,164	56.8	57.0
02 鉱業									
	土石採取	1	1	7	7	5	3	71.4	42.9
03 建設業									
	土木工事	20	19	1,480	1,620	1,000	999	67.6	61.7
	建築工事	34	37	2,991	3,356	1,823	1,949	60.9	58.1
	他の建設	17	15	1,055	1,213	720	730	68.2	60.2
	小計	71	71	5,526	6,189	3,543	3,678	64.1	59.4
04 運輸交通									
	鉄道等	30	20	1,901	1,694	570	493	30.0	29.1
	道路旅客	33	22	1,654	1,536	1,016	868	61.4	56.5
	道路貨物	125	99	6,451	6,320	3,291	3,207	51.0	50.7
	他の運輸	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	小計	188	141	10,006	9,550	4,877	4,568	48.7	47.8
05 貨物取扱									
	陸上貨物	3	4	168	230	126	157	75.0	68.3
01～05 中計		1,430	1,134	127,483	123,195	71,986	69,570	56.5	56.5
06～17 農林業ほか									
中計		1,176	992	76,207	74,341	43,326	42,208	56.9	56.8
01～17 合計		2,606	2,126	203,690	197,536	115,312	111,778	56.6	56.6
全 国		145,791	122,398	13,237,013	13,185,491	7,697,689	7,771,417	58.2	58.9

(注) 「所見のあった者」は、労働安全衛生規則第44条及び第45条で規定する健康診断項目のいずれかが有所見であった者(他覚所見のみを除く。)の人数である。

第4表-1

令和5年 一般定期健康診断項目別有所見率(その1)

業種	健診実施事業場数	受診者数	聴力(1,000Hz)		聴力(4,000Hz)		聴力(その他)		胸部X線検査		喀痰検査		血圧		貧血検査		
			実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	
製造業	食品製造	133	12,729	11,959	4.3	11,960	6.9	884	3.1	11,639	3.7	158	0.0	12,729	19.4	11,947	10.1
	繊維工業	1	110	78	5.1	78	10.3	32	0.0	77	0.0	0	0.0	110	15.5	78	17.9
	衣服繊維	4	325	310	3.9	310	3.5	14	0.0	324	3.1	0	0.0	325	22.2	325	24.3
	木材木製	4	288	288	2.8	288	11.5	0	0.0	288	5.9	0	0.0	288	30.2	288	16.0
	家具装備	3	177	177	5.1	177	10.7	0	0.0	177	4.0	0	0.0	177	19.8	177	5.1
	バルブ等	9	741	720	1.9	720	8.1	163	0.0	736	3.4	89	12.4	741	17.1	741	8.1
	印刷製本	19	1,251	1,129	3.5	1,152	6.3	90	0.0	1,106	2.9	0	0.0	1,251	19.6	1,177	7.5
	化学工業	64	4,506	4,097	4.0	4,097	8.6	549	0.2	4,072	2.7	87	3.4	4,506	17.7	4,136	8.4
	窯業土石	11	1,135	974	2.6	974	8.7	223	0.9	972	3.4	0	0.0	1,135	28.2	1,104	7.5
	鉄鋼業	1	227	224	2.2	224	3.6	0	0.0	131	0.8	0	0.0	227	16.7	227	6.2
	非鉄金属	14	1,366	1,162	3.0	1,162	11.4	203	0.0	1,230	2.9	1	100.0	1,365	17.6	1,228	6.7
	金属製品	105	6,925	6,104	3.7	6,103	9.8	952	0.3	6,305	3.5	49	0.0	6,925	18.3	6,344	6.8
	一般機器	181	28,017	25,825	2.9	25,825	6.7	2,479	0.2	26,799	3.9	0	0.0	28,016	15.2	26,471	5.9
	電気機器	246	37,190	33,716	3.1	33,716	5.4	5,410	0.1	33,820	3.0	117	14.5	37,187	17.9	34,124	6.3
輸送機械	73	9,079	8,398	3.5	8,391	10.1	1,198	0.1	7,612	3.0	105	0.0	9,079	16.9	8,534	7.1	
電気ガス	13	1,371	1,341	2.6	1,341	7.8	98	0.0	1,350	8.1	0	0.0	1,371	17.3	1,358	21.1	
他の製造	36	1,782	1,693	5.5	1,693	9.8	213	0.9	1,650	3.6	3	0.0	1,782	20.6	1,778	10.5	
小計	917	107,219	98,195	3.3	98,211	7.0	12,508	0.4	98,288	3.5	609	5.3	107,214	17.5	100,037	7.3	
建設業	鉱業	1	7	7	0.0	7	14.3	0	0.0	7	0.0	0	0.0	7	28.6	7	14.3
	土木工事	19	1,620	1,552	6.0	1,552	19.1	116	0.0	1,610	4.1	0	0.0	1,620	21.5	1,492	5.5
	建築工事	37	3,356	3,242	3.3	3,240	10.6	408	0.0	3,341	2.8	399	0.0	3,356	19.3	3,183	5.0
	他の建設	15	1,213	1,193	3.2	1,193	11.7	183	0.5	1,212	5.4	148	0.0	1,213	21.0	1,213	5.9
	小計	71	6,189	5,987	4.0	5,985	13.0	707	0.1	6,163	3.6	547	0.0	6,189	20.2	5,888	5.3
運輸交通業	鉄道等	20	1,694	1,684	1.0	1,684	1.7	100	0.0	1,337	3.1	0	0.0	1,694	10.4	1,078	3.7
	道路旅客	22	1,536	1,429	5.9	1,429	13.3	103	0.0	1,194	9.3	0	0.0	1,536	19.5	1,311	6.6
	道路貨物	99	6,320	6,135	3.8	6,135	7.6	371	0.0	5,795	3.0	48	0.0	6,320	18.7	6,004	5.4
	他の運輸	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	141	9,550	9,248	3.6	9,248	7.4	574	0.0	8,326	3.9	48	0.0	9,550	17.3	8,393	5.4
陸上貨物	4	230	230	3.0	230	8.7	0	0.0	214	2.3	0	0.0	230	25.2	230	10.4	
その他の業種(林業含む)	農林業	4	277	277	3.2	277	8.3	0	0.0	276	3.6	0	0.0	277	19.5	276	5.8
	畜産水産	1	64	64	14.1	64	26.6	0	0.0	62	6.5	0	0.0	64	18.8	62	16.1
	商業	346	18,175	16,638	5.5	16,666	6.3	1,604	0.7	17,443	2.6	60	0.0	18,174	24.1	17,288	10.8
	金融広告	47	6,938	4,877	4.6	4,877	5.0	2,122	0.0	6,307	4.5	0	0.0	6,938	14.3	6,919	7.5
	映画演劇	1	10	10	0.0	10	10.0	0	0.0	10	0.0	0	0.0	10	10.0	10	20.0
	通信業	29	3,556	2,826	5.6	2,826	8.1	737	0.0	2,885	4.3	0	0.0	3,556	19.6	2,848	6.5
	教育研究	32	2,588	2,502	2.7	2,502	5.9	230	0.0	2,488	3.5	119	0.0	2,588	20.8	2,606	8.5
	保健衛生	249	22,491	17,207	4.1	17,283	5.4	2,666	0.3	18,680	3.9	74	2.7	22,482	14.2	20,513	9.8
	接客娯楽	102	4,535	4,314	4.2	4,314	8.6	265	0.4	4,082	6.2	71	0.0	4,535	22.6	4,181	9.5
	清掃と畜	35	1,886	1,852	7.3	1,852	14.4	56	1.8	1,807	7.1	4	0.0	1,886	23.9	1,857	9.2
	官公署	3	386	366	3.8	366	4.6	19	0.0	377	1.3	1	0.0	386	14.5	386	4.4
	他の事業	143	13,435	12,385	3.3	12,386	6.5	1,287	0.0	12,782	6.6	141	5.0	13,435	16.8	13,001	7.9
	小計	992	74,341	63,318	4.5	63,423	6.5	8,986	0.3	67,199	4.3	470	1.9	74,331	18.4	69,947	9.2
合計	2,126	197,536	176,985	3.8	177,104	7.0	22,775	0.3	180,197	3.8	1,674	2.4	197,521	17.9	184,502	7.9	

単位:受診者数・実施者数(人)、有所見率(%)

第4表-2

令和5年 一般定期健康診断項目別有所見率(その2)

業種	肝機能検査		血中脂質検査		血糖検査		尿検査(糖)		尿検査(蛋白)		心電図検査		有所見者		
	実施者数	有所見率	人数	有所見率											
製造業	食品製造	11,930	12.4	11,898	29.1	11,921	12.0	12,483	3.0	12,530	3.6	11,173	11.8	7,187	56.5
	繊維工業	78	14.1	78	28.2	78	10.3	110	1.8	110	0.0	78	9.0	53	48.2
	衣服繊維	325	12.6	325	37.2	325	11.7	317	3.2	321	1.2	316	15.5	237	72.9
	木材木製	288	21.2	288	43.4	288	17.4	288	1.0	288	0.3	288	17.7	214	74.3
	家具装備	177	10.2	177	32.8	177	13.0	177	2.8	177	3.4	177	6.2	109	61.6
	パルプ等	741	17.5	741	29.0	741	8.9	735	2.2	735	3.4	672	9.7	447	60.3
	印刷製本	1,193	14.7	1,193	31.1	1,193	14.3	1,229	2.4	1,229	2.0	1,139	12.6	730	58.4
	化学工業	4,110	13.9	4,110	26.4	4,110	10.4	4,425	2.7	4,450	2.4	4,000	9.3	2,491	55.3
	窯業土石	1,105	23.4	1,105	35.1	1,105	12.3	1,132	4.3	1,132	1.9	978	11.2	776	68.4
	鉄鋼業	227	25.1	227	22.5	227	9.3	227	3.5	227	1.8	227	6.2	133	58.6
	非鉄金属	1,228	16.0	1,228	26.7	1,228	10.5	1,349	3.8	1,349	2.0	1,162	10.2	743	54.4
	金属製品	6,348	14.0	6,340	28.4	6,332	9.9	6,831	3.0	6,829	2.0	6,065	9.3	3,822	55.2
	一般機器	26,694	15.6	26,684	29.8	26,777	9.6	27,758	2.8	27,691	2.1	25,557	11.1	16,034	57.2
	電気機器	34,223	15.8	34,221	29.8	34,215	11.5	36,818	3.4	36,888	2.5	33,243	10.0	20,842	56.0
	輸送機械	8,537	15.2	8,504	28.6	8,556	10.5	9,068	3.1	9,065	2.1	8,228	9.1	5,163	56.9
電気ガス	1,358	19.8	1,358	40.6	1,358	17.7	1,370	3.4	1,370	2.9	1,358	20.7	1,034	75.4	
他の製造	1,778	16.5	1,779	31.2	1,778	11.0	1,729	4.1	1,768	3.6	1,710	13.0	1,149	64.5	
小計	100,340	15.3	100,256	29.6	100,409	10.9	106,046	3.1	106,159	2.5	96,371	10.6	61,164	57.0	
鉱業	7	28.6	7	14.3	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	3	42.9	
建設業	土木工事	1,598	18.1	1,598	28.3	1,582	16.4	1,618	4.8	1,618	2.7	1,549	8.0	999	61.7
	建築工事	3,272	16.4	3,273	28.3	3,274	13.2	3,340	3.8	3,340	3.5	3,226	8.6	1,949	58.1
	他の建設	1,213	18.4	1,213	27.0	1,213	15.3	1,213	4.2	1,213	5.1	1,213	10.4	730	60.2
	小計	6,083	17.3	6,084	28.0	6,069	14.5	6,171	4.1	6,171	3.6	5,988	8.8	3,678	59.4
運輸交通業	鉄道等	1,077	10.3	1,077	22.9	1,077	8.4	1,693	2.1	1,692	1.8	1,304	4.4	493	29.1
	道路旅客	1,311	14.6	1,310	26.9	1,311	15.6	1,526	6.5	1,527	4.8	1,303	9.1	868	56.5
	道路貨物	6,083	11.7	6,083	24.1	6,082	10.4	6,275	4.4	6,271	3.2	5,985	8.0	3,207	50.7
	他の運輸	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	8,471	12.0	8,470	24.4	8,470	10.9	9,494	4.3	9,490	3.2	8,592	7.6	4,568	47.8
陸上貨物	230	13.5	230	32.6	230	13.0	229	3.9	229	3.9	230	9.1	157	68.3	
その他の業種(林業含む)	農林業	276	13.0	276	30.1	276	10.1	276	1.4	276	0.4	277	12.6	172	62.1
	畜産水産	62	12.9	62	32.3	62	16.1	61	9.8	61	3.3	37	5.4	45	70.3
	商業	17,334	12.0	17,315	28.9	17,343	13.4	17,938	4.4	17,952	2.8	16,722	10.2	10,853	59.7
	金融広告	6,927	9.7	6,887	27.5	6,920	10.0	6,890	2.2	6,891	2.2	5,676	11.1	3,486	50.2
	映画演劇	10	30.0	10	30.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	6	60.0
	通信業	2,848	19.1	2,848	38.8	2,848	14.3	3,552	3.9	3,552	4.5	2,819	14.4	2,128	59.8
	教育研究	2,606	18.2	2,606	36.1	2,605	18.9	2,631	3.2	2,885	2.7	2,455	11.6	1,674	64.7
	保健衛生	20,251	11.7	20,259	27.1	20,208	11.8	22,078	2.6	22,143	5.0	16,325	9.8	11,907	52.9
	接客娯楽	4,205	14.3	4,205	31.7	4,235	18.8	4,463	4.4	4,492	3.6	4,162	11.2	2,870	63.3
	清掃と畜	1,866	17.7	1,866	34.2	1,866	16.3	1,889	6.5	1,889	4.1	1,857	13.5	1,299	68.9
	官公署	386	3.9	386	23.8	386	9.3	381	1.0	381	1.3	258	8.5	187	48.4
	他の事業	13,036	14.5	13,024	26.9	13,008	12.7	13,365	3.8	13,121	3.7	12,736	9.1	7,581	56.4
	小計	69,807	12.9	69,744	28.8	69,767	13.1	73,534	3.5	73,653	3.7	63,334	10.4	42,208	56.8
合計	184,938	14.3	184,791	29.0	184,952	11.9	195,481	3.3	195,709	3.0	174,522	10.3	111,778	56.6	

単位:実施者数(人)、有所見率(%)

第5表

特殊健康診断実施状況の推移(過去30年間)

区分 年	実施事業場数	受診労働者数 (A) (人)	有所見者数 (B) (人)	有所見率 (B/A×100) (%)
平成6	2,607	36,708	1,321	3.6
7	2,421	33,633	1,452	4.3
8	2,490	35,063	1,673	4.8
9	2,519	35,121	1,426	4.1
10	2,567	35,181	1,748	5.0
11	2,526	35,418	1,780	5.0
12	2,477	36,413	2,564	7.0
13	2,399	35,066	2,423	6.9
14	2,274	32,051	1,580	6.9
15	2,317	32,584	1,568	4.8
16	2,291	31,041	1,691	4.8
17	2,288	30,298	1,579	5.5
18	2,280	31,757	1,689	5.2
19	2,119	32,293	1,747	5.3
20	2,201	35,918	2,110	5.9
21	2,053	29,501	1,691	5.7
22	2,169	32,110	1,898	5.9
23	2,207	31,890	1,801	5.7
24	2,205	32,515	1,971	6.1
25	2,360	33,572	1,824	5.4
26	2,751	37,840	2,074	5.5
27	3,151	41,740	2,187	5.2
28	3,322	43,812	2,209	5.0
29	3,343	42,892	2,392	5.6
30	3,488	45,938	2,673	5.8
令和元年	3,494	45,280	2,628	5.8
2	3,469	46,924	2,767	5.9
3	3,716	47,748	2,709	5.7
4	3,842	49,034	2,645	5.4
5	4,119	52,753	2,895	5.5

(注)資料:特殊健康診断実施状況報告

第6表-1

## 特殊健康診断実施結果(令和5年)(その1)

## 1 法定の健康診断

対象作業	区分	実施 事業場数	受診	有所見者数	有所見率
			労働者数 (A) (人)	(B) (人)	(B/A×100) (%)
	有機溶剤	1,088	15,144	321	2.1
	鉛	160	1,804	10	0.6
	電離放射線	201	2,632	274	10.4
	除染等電離放射線	1	3	0	0.0
特定化学物質	ベンジジン	0	0	0	
	ベンゼン含有ゴムのり	1	1	1	100.0
	塩素化ビフェニル	3	15	0	0.0
	アクリルアミド	1	7	1	14.3
	アクリロニトリル	1	9	0	0.0
	塩化ビニル	1	9	0	0.0
	塩素	15	119	0	0.0
	カドミウム	7	16	4	25.0
	クロム酸	64	565	4	0.7
	クロロメチルメチルエーテル	0	0	0	
	五酸化バナジウム	0	0	0	
	コールタール	17	475	0	0.0
	シアン化カリウム	48	1,130	2	0.2
	シアン化水素	10	80	0	0.0
	シアン化ナトリウム	33	670	0	0.0
	3・3' ジクロロ 4・4' ジアミノジフェニルメタン	5	28	6	21.4
	重クロム酸	3	12	0	0.0
	水銀	5	27	0	0.0
	トリレンジイソシアネート	5	51	0	0.0
	ニッケルカルボニル	1	37	0	0.0
	ニトログリコール	1	4	1	25.0
	弗化水素	69	828	3	0.4
	ベンゼン	8	29	2	6.9
	ペンタクロロフェノール	0	0	0	
	マンガン	92	1,559	11	0.7
	沃化メチル	1	1	0	0.0
	硫化水素	9	142	0	0.0
	硫酸ジメチル	1	9	1	11.1
	ニッケル化合物	55	895	1	0.1
	砒素	7	102	4	3.9
	酸化プロピレン	2	2	0	0.0
	1・1 - ジメチルヒドラジン	0	0	0	
	インジウム化合物	9	257	1	0.4
	エチルベンゼン	448	3,894	49	1.3
	コバルト及びその無機化合物	119	1,851	13	0.7
	1・2-ジクロロプロパン	1	10	0	0.0
	クロロホルム	29	139	24	17.3
	四塩化炭素	5	23	3	13.0
	1・4-ジオキサン	7	68	7	10.3
	1・2-ジクロロエタン	8	43	11	25.6
	ジクロロメタン	118	1,071	133	12.4
	ジメチル - 2・2 - ジクロロビニルホスフェイト	0	0	0	
	スチレン	103	570	114	20.0
	1・1・2・2-テトラクロロエタン	1	5	5	100.0
	テトラクロロエチレン	13	39	9	23.1
	トリクロロエチレン	73	320	38	11.9
	メチルイソブチルケトン	235	1,582	50	3.2
	ナフタレン	58	657	34	5.2
	リフラクトリーセラミックファイバー	22	501	5	1.0
	オルト-トルイジン	0	0	0	
三酸化ニアンチモン	21	218	2	0.9	
溶接ヒューム	393	2,897	45	1.6	
小計	2,128	20,967	584	2.8	
石綿	19	203	0	0.0	
高気圧作業	0	0	0		
合計	3,597	40,753	1,189	2.9	

第6表-2

特殊健康診断実施結果(令和5年)(その2)

2 指導勧奨による健康診断

対象作業	区分	実施 事業場数	受診 労働者数 (A) (人)	有所見者数 (B) (人)	有所見率 (A/B×100) (%)
紫外線・赤外線		121	1,621	68	4.2
騒音		230	6,932	1,160	16.7
マンガン等(塩基性酸化マンガンに限る)		0	0	0	
有機りん剤		1	43	6	14.0
亜硫酸ガス		3	21	1	4.8
二硫化炭素(有機則適用以外のものに限る。)		0	0	0	
ベンゼンのニトロアミド化合物		1	1	0	0.0
砒素(特化則適用以外)		2	43	1	2.3
超音波溶着機		6	39	2	5.1
メチレンジフェニルイソシアネート		3	38	0	0.0
フェザーミル等		1	18	2	11.1
都市ガス配管工事		0	0	0	
チェーンソー		25	374	61	16.3
チェーンソー以外の振動工具		17	344	59	17.2
重量物		12	507	75	14.8
引金付工具		6	194	9	4.6
VDT作業		43	1,365	235	17.2
レーザー機器		51	460	27	5.9
合計		522	12,000	1,706	14.2
1 法定の健康診断	合計	4,119	52,753	2,895	5.5
2 指導勧奨による健康診断					

第7表

健康管理手帳(労働安全衛生法関係)新規交付状況(過去10年間)

	粉じん(管理2)	粉じん(管理3)	石綿	合計
平成26年	1	0	29	30
平成27年	1	0	26	27
平成28年	9	0	25	34
平成29年	1	0	11	12
平成30年	1	0	10	11
平成31年・令和元年	5	1	10	16
令和2年	1	0	14	15
令和3年	0	1	13	14
令和4年	3	1	16	20
令和5年	2	0	8	10

労働安全衛生法関係の健康管理手帳は、「ベンジジン等(ベンジジン、ベータ-ナフチルアミン、ジアニシジン)」、「じん肺(粉じん)」、「クロム酸等」、「三酸化砒素」、「コールタール」、「ビス(クロロメチル)エーテル」、「ペリリウム」、「ベンゾトリクロリド」、「塩化ビニル」、「石綿」、「1,2-ジクロロプロパン」、「オルト-トルイジン」、「3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン(MOCA)」の業務種類があるが、「じん肺(粉じん)」、「石綿」以外の業務種類に係る健康管理手帳について、過去10年間長野労働局において新規交付した実績は無い。

第8表

じん肺健康診断実施状況及びじん肺管理区分決定状況の推移(過去30年間)

区分 年	じん肺健康診断実施状況			管理区分決定状況				有所見者数 (B) + +	有所見率 (B/A×100) (%)	
	粉じん作業を 有する 事業場数	粉じん作業 従事労働者数 (人)	じん肺健診 受診者数 (A) (人)	所見なし	有所見者(人)					
				管理1	管理2	管理3	管理4			
平成6	1,326	10,684	5,888	(5) 43	(45) 549	(10) 37	(12) 0	(67) 586	10.0	
7	1,426	9,814	5,749	(1) 53	(26) 623	(32) 33	(7) 0	(65) 656	11.4	
8	1,470	9,400	5,161	(3) 45	(23) 420	(23) 27	(4) 1	(50) 448	8.7	
9	1,498	10,659	6,292	(2) 47	(35) 435	(45) 29	(17) 0	(97) 464	7.4	
10	1,431	10,063	5,601	(6) 13	(44) 378	(23) 26	(8) 1	(75) 405	7.2	
11	1,336	9,790	5,321	(2) 28	(47) 374	(20) 19	(3) 0	(70) 393	7.4	
12	1,278	9,397	5,220	(7) 14	(72) 359	(33) 21	(7) 1	(112) 381	7.3	
13	1,238	9,122	5,261	(3) 4	(25) 245	(24) 15	(7) 0	(56) 260	4.9	
14	1,203	8,641	4,743	(13) 15	(59) 227	(23) 10	(4) 1	(86) 238	5.0	
15	1,177	9,281	5,291	(9) 23	(58) 140	(16) 8	(3) 0	(77) 148	2.8	
16	1,120	8,917	4,892	(15) 28	(42) 122	(12) 8	(6) 0	(60) 130	2.7	
17	1,086	8,116	4,644	(26) 9	(49) 99	(14) 4	(4) 0	(67) 103	2.2	
18	1,095	9,717	5,008	(15) 13	(45) 100	(11) 5	(8) 0	(64) 105	2.1	
19	1,042	7,431	4,276	(12) 3	(75) 88	(11) 3	(4) 0	(90) 91	2.1	
20	1,096	10,715	5,635	(9) 8	(35) 93	(2) 4	(4) 2	(41) 99	1.8	
21	1,078	7,984	3,807	(11) 5	(48) 65	(11) 4	(3) 0	(62) 69	1.8	
22	1,089	9,876	4,610	(6) 2	(30) 49	(9) 3	(3) 0	(42) 52	1.1	
23	1,033	8,417	4,448	(6) 4	(29) 50	(11) 4	(4) 0	(44) 54	1.2	
24	1,049	9,487	4,490	(2) 1	(22) 33	(10) 1	(4) 1	(36) 35	0.8	
25	1,093	9,229	4,514	(4) 1	(20) 39	(6) 1	(1) 1	(27) 41	0.9	
26	1,117	9,894	5,034	(6) 2	(19) 21	(8) 2	(1) 1	(28) 24	0.5	
27	1,125	10,227	4,880	(9) 0	(16) 20	(6) 4	(3) 1	(25) 25	0.5	
28	1,112	10,075	4,547	(4) 2	(14) 14	(6) 3	(4) 1	(24) 18	0.4	
29	1,074	8,936	4,657	(4) 2	(14) 16	(9) 3	(3) 0	(26) 19	0.4	
30	1,119	10,712	5,033	(7) 3	(6) 6	(1) 1	(2) 0	(9) 7	0.1	
令和元	1,121	9,560	4,432	(4) 3	(10) 6	(6) 1	(1) 0	(17) 7	0.2	
2	1,140	10,391	5,245	(0) 0	(11) 4	(6) 0	(0) 0	(17) 4	0.1	
3	1,185	12,198	5,464	(3) 0	(8) 6	(5) 0	(0) 0	(13) 6	0.1	
4	1,241	11,926	5,173	(2) 1	(8) 5	(4) 0	(0) 0	(12) 5	0.1	
5	1,275	12,753	6,303	(1) 11	(1) 7	(0) 1	(2) 0	(3) 8	0.1	

1.資料:「じん肺健康診断実施状況」は、「じん肺健康管理実施状況報告」による。  
 2.管理1は局に提出のあったもので、じん肺診査の結果管理1と決定したもの。  
 3.カッコ書き数字は随時申請で外数である。

第9表

令和5年 心理的な負担の程度を把握するための検査  
(いわゆるストレスチェック)実施状況

業種	区分	検査実施 事業場数	検査を受けた労働者数(人)				面接指導を受けた労働者数(人)				集団分析の実施 の有無	
			検査実施者			合 計	指導実施者			合 計	分析あり 事業場数	分析なし 事業場数
			専任産業医 等	専属医師等	非専属医師 等		専任産業医 等	専属医師等	非専属医師 等			
長野県	製造業	745	58,257	8,329	40,070	106,656	468	20	43	531	628	117
	建設業	64	2,415	357	2,843	5,615	7	0	12	19	53	11
	運輸・ 貨物取扱業	115	2,648	1,773	3,871	8,292	44	0	14	58	92	23
	その他の 業種	985	43,062	8,958	24,398	76,418	308	35	48	391	898	87
	合 計	1,909	106,382	19,417	71,182	196,981	827	55	117	999	1,671	238
全 国		120,050	7,783,060	1,224,655	4,817,123	13,824,838	52,227	2,848	8,670	63,745	105,156	14,894

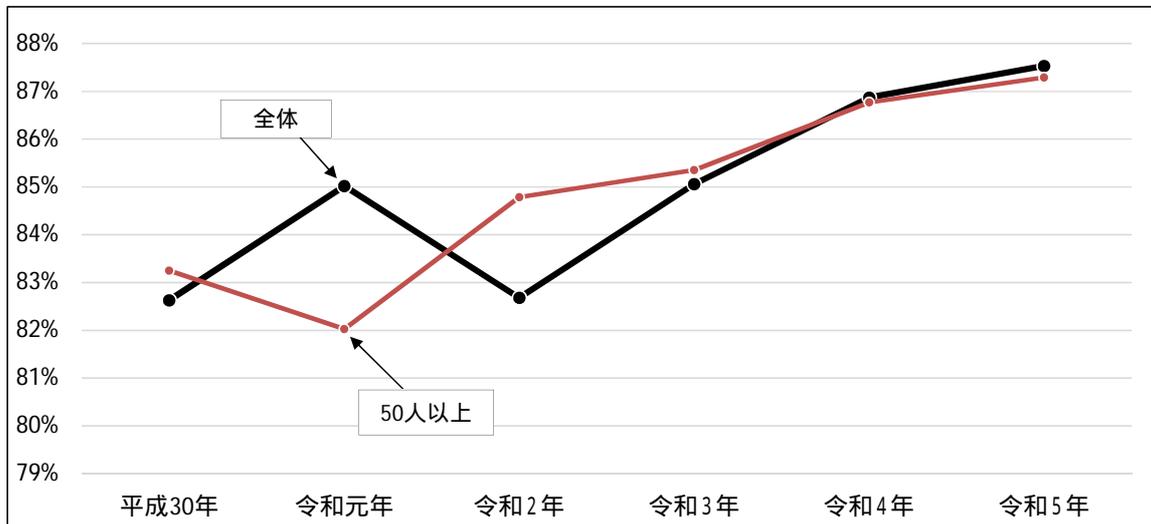
(注) 資料:心理的な負担の程度を把握するための検査結果実施状況報告。規模50人未満の事業場実施分も含む。

第10表・第3図

長野県におけるストレスチェック集団分析実施事業場割合の推移

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
検査実施事業場数	全体	2240	1963	2021	1714	1782	1909
	50人以上	1869	1942	1696	1502	1542	1692
集団分析あり 事業場数	全体	1851	1669	1671	1458	1548	1671
	50人以上	1556	1593	1438	1282	1338	1477
集団分析あり 事業場割合 (%)	全体	82.6%	85.0%	82.7%	85.1%	86.9%	87.5%
	50人以上	83.3%	82.0%	84.8%	85.4%	86.8%	87.3%

(注):資料:心理的な負担の程度を把握するための検査結果実施状況報告。それぞれ上欄は規模50人未満の事業場実施分も含み、下欄は規模50人以上の事業場の状況(事業場数は下欄は上欄の内数)。



## 第11表

## 令和5年 工業中毒等特殊疾病事例

整理番号	発生月	業種	災害発生状況の概要
1	3月	製造業	被災者が車両系機械を整備する際に、精製水と次亜塩素酸ナトリウムが入った容器を取り違え、管から機械に注入するため口で吸引したところ、誤飲した。
2	6月	製造業	被災者がグラインダーやベルトサンダー使用時に発生した粉じん、金属の錆等が目に入った際に、手で擦ったところ炎症となった。
3	6月	製造業	被災者がバケツに入れた苛性ソーダを直接薬品槽に投入した際に激しく反応して液面が噴き上がり、被災者にかかった。
4	7月	製造業	被災者が硝酸槽の中に鉄かごを入れて作業をしていたところ、手が滑った際に同薬品が跳ねて被災者の目に入った。
5	8月	社会福祉施設	入浴介助後、被災者が設備の清掃をしていたところ洗剤又はシャンプーが目に入った。
6	9月	建設業	工事現場の坑内において、被災者が高圧下で機械設備の整備作業を行ったところ、帰宅後に体調不良となり、その後病院で減圧症と診断された。
7	9月	廃棄物処理業	工場内で被災者が給湯器の解体をしていたところ、配管ホースを切断した際に液体が吹き出して目に入った。
8	12月	製造業	紫外線を発生させる機器を用いたガラス板内の気泡を探す作業について、被災者が通常時より長い時間作業を行ったところ、目の痛みと視界不良を発症した。

# 第12表・第4図 長野県の熱中症による労働災害発生状況

データ出所:労働者死傷病報告を長野労働局労働基準部健康安全課で分析したもの(令和6年8月集計)

熱中症の業種別・年別発生状況(休業4日以上、単位:人)

業種	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	合計
製造業	1	(1) 3	1			3	2	1		2	(1) 13
建設業	2		5		5		1	1	3	5	22
道路貨物運送業		1	1	2	2			2	2	1	11
林業						1					1
商業					(1) 2	1	1		(1) 2	4	(2) 10
飲食店											
ビルメンテナンス業						1	1		1	1	4
警備業				1	5	(1) 1	1	1	1		(1) 10
その他	1	1			5	6	4	4	3	(1) 3	(1) 27
合計	4	(1) 5	7	3	(1) 19	(1) 13	10	9	(1) 12	(1) 16	(5) 98

( )内は死亡者数で内数

熱中症の被災者年代別発生状況(平成26年~令和5年)

被災者年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
熱中症(人)	3	(1) 13	(1) 16	16	(1) 25	(1) 19	(1) 6	(5) 98

( )内は死亡者数で内数

熱中症の月別発生状況(平成26年~令和5年)

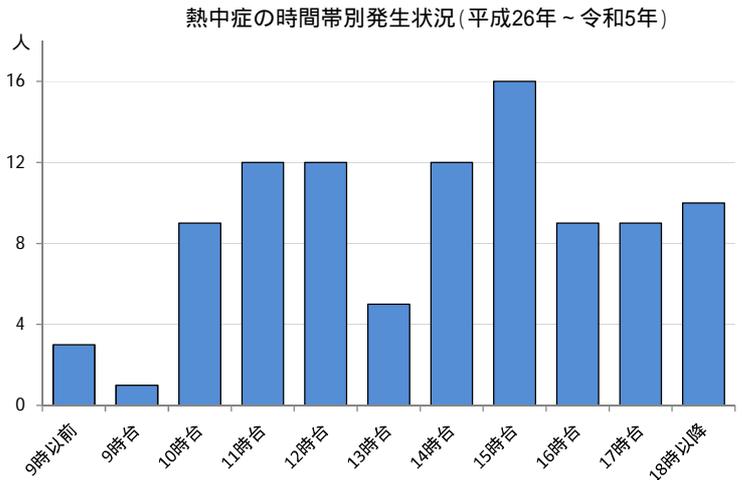
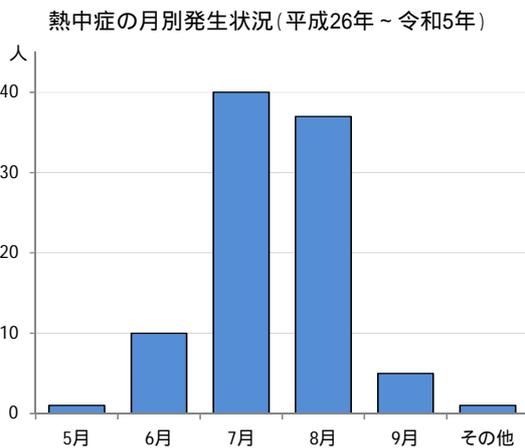
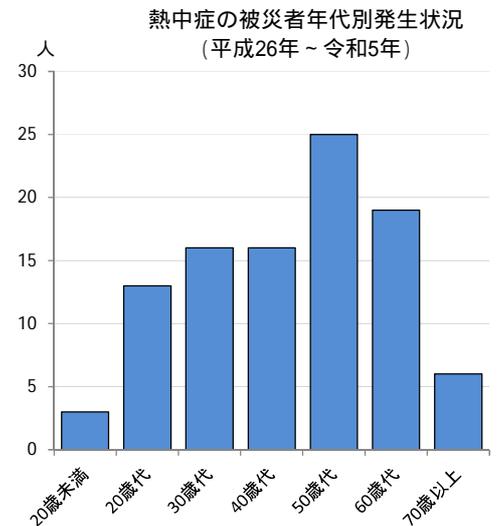
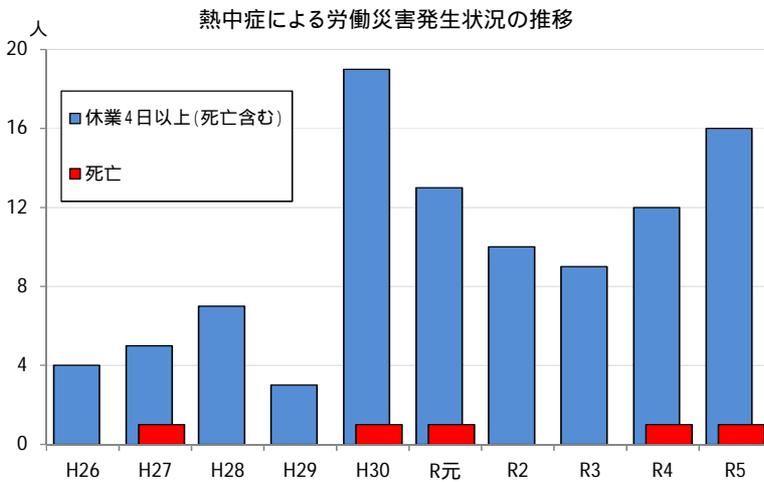
月	5月	6月	7月	8月	9月	その他	合計
熱中症(人)	5	10	(2) 40	(3) 37	5	1	(5) 98

( )内は死亡者数で内数

熱中症の時間帯別発生状況(平成26年~令和5年)

時間帯	9時以前	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時以降	合計
熱中症(人)	3	1	9	12	(1) 12	(1) 5	(1) 12	16	9	(1) 9	(1) 10	(5) 98

( )内は死亡者数で内数



## 第13表 長野県の熱中症による災害事例(平成26年～令和5年)

### 熱中症による死亡災害事例(全件)

発生年・業種	発生状況の概要
平成27年 製造業	食品残渣等廃棄物から有機肥料を製造する事業場において、廃棄物の入ったフレコンバックを車両積載形トラッククレーンの荷台から下ろす作業を行っていた被災者が意識を失い倒れた。
平成30年 商業	真夏の屋外で露店を営業するため、午前中から調理器具の準備や仕込等の作業を行い、また、同所において、夕方からの営業で接客等の作業を行い熱中症を発症した。
令和元年 警備業	道路上で交通誘導業務を行っていたところ、熱中症を発症した。
令和4年 商業	顧客企業の農業用ハウス内において14時頃から被災者一人で自動カーテンのワイヤー交換作業を行っていたところ、意識を失い倒れた。17時頃に顧客関係者に発見され、救急搬送されたが、熱中症疑いで死亡が確認された。
令和5年 農業	朝方から水田脇の畦道の草刈り作業をしていたところ、作業現場で倒れているところを、通りがかった付近の住民に発見され、その後、救急車で病院へ救急搬送されたものの、亡くなった。

### 熱中症による死亡災害事例(参考:長野県内への出張中の労働者にかかるもの)

発生年・業種	発生状況の概要
令和3年 商業	屋根に設置された太陽光パネルの点検清掃作業等を行っていたところ、倒れているところを発見され、病院へ搬送されたが死亡したものの。

### 熱中症による主な休業災害事例

業種	発生状況の概要
製造業	エアコンが稼働している工場内において、電気配線の組立作業を行っていたが、室温が30度ほどになり、午後3時ころから頭痛、吐き気の症状が発生し、終業後も体調が戻らないため、病院を受診した。
製造業	製造ラインで部品を取り付ける作業を屈んで行っていたところ、座り込み、そのまま倒れた。意識を失い、けいれんが発生していたため救急車で搬送された。
製造業	製造ライン(めっき槽)のメンテナンス作業中、合羽、マスクを装着し作業を行っていたところ、手指の痙攣が発生し、病院を受診した。
建設業	個人住宅の現場において、基礎周りを70cm程度手掘りで掘削していたところ、めまいや吐き気が出て、仕事が出来なくなった。
建設業	建築工事現場において、型枠組み立て作業に従事し、休憩の際、水分を摂取しようとしたが嘔吐し、手足のしびれが発生し、その後、全身の痙攣が始まったため、救急車で病院へ搬送された。
建設業	住宅基礎工事現場において、コンクリート圧送作業に従事していたところ、手足のしびれとめまいのため、動けなくなり、救急車で病院へ搬送された。
道路貨物運送業	構内で仕分け作業中、体調が悪くなり、休憩をとっていたが、立ち上がることができなくなり、救急車で病院へ搬送された。
道路貨物運送業	客先構内で集荷業務を行っていた際、全身が痙攣し、動けなくなったため、救急車で病院へ搬送された。
林業	草刈作業中に、草を集める作業を行っていたところ、具合が悪くなり座り込んだ。その後入院となった。
ビルメンテナンス業	ホテルの客室清掃作業中、水分補給が不足していたため、ホテルフロア内にて具合が悪くなり自力で歩けなくなったことから、救急車により病院へ搬送された。
保健衛生業	保育園敷地内の屋外プールの清掃作業中、吐き気がし、屋内にて休んでいたものの体調が回復しなかったため、病院を受診した。
保健衛生業 (派遣業)	派遣先の病院にて勤務中、浴室で患者の入浴介助中、患者の腕を支えようとした際、足に力が入らなくなり、座り込んでしまった。応急処置をしたが、改善がないため、救急車で病院に搬送された。
公園・遊園地	炎天下でグラウンドの散水作業中、長時間の作業後、頭痛を訴え、嘔吐した。
警備業	警備業務中、他の従業員から様子がおかしいとの連絡が入り、当人へ連絡したところ、呂律が回らず、休憩を取らせたが、回復がなかったため、救急車で病院に搬送された。
警備業	交通誘導業務を行っていたところ、頭痛を発症し、我慢して業務を継続し、帰宅後、頭痛が悪化し、嘔吐と下痢を発症し、動けなくなったため、病院を受診した。